

暫定操作説明

経緯台に対応

SR20に新たに経緯台に対応するモードを設けました。
アライメント（1～3点）、追尾、自動導入が出来ます。

(1) ホーム位置セット

鏡筒を水平にして南方向に向ける。ホーム位置は（方位0°、高度0°）

クランプを緩めてホーム位置にセットできない場合は、一旦SR20の電源を入れてJOG操作で行なう。
完了後SR20の電源OFFする。

(2) 星図ソフトとの接続（星図ソフトの使用を前提としています。）

SR20の電源をONして初期画面にする。

アライメント指示
i: クリアアライメント
(全ての情報をクリアして1点目アライメント)
a: 1点目アライメント
b: 2点目アライメント
c: 3点目アライメント
M: メモリアライメント

目標位置

現在位置

〔初期画面〕

時 分 秒
h m s
RA (赤経)

度 分 秒
° ' "
DEC (赤緯)

点滅: 追尾中

点灯: 位置決め完了
点滅: 自動導入移動中

次に、星図ソフトと接続し観測地情報（日時、場所）を星図ソフト側から送信する。

（SkySafariでは、接続時に観測地情報（日時、場所）を送る設定にしてください。）

この情報を使ってSR20内部で赤道座標を地平座標に変換しています。

(3) 最初の導入

鏡筒が向いている近くの星を導入する。かなり視野から外れていると思います。

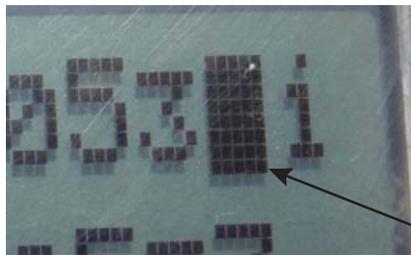
JOG操作でその星を視野の中央に入れて、同期を行なう。

これで1点アライメントが完了しました。次からの導入はこの誤差分を入れて導入が行なわれます。

（但し、経緯台設置の水平の補正は行なわれないので導入および追尾精度は悪い。）

(4) 2点目のアライメント

アライメント指示位置へカーソルの移動する。一旦カーソルを前の位置に置き



を3秒長押し、
〔カーソル移動〕



で b にする。

2点目の星を視野の中央に入れて、同期を行なう。



アライメント指示

アライメント完了表示

これで2点アライメントが完了しました。次からの導入はこの誤差分を入れて導入が行なわれます。
(経緯台設置の水平の補正が行なわれ導入および追尾精度が上がります。)

(5) 3点目のアライメント

アライメント指示を c にする。

3点目の星を視野の中央に入れて、同期を行なう。



アライメント指示

アライメント完了表示

3点アライメントが完了しました。次からの導入はこの誤差分を入れて導入が行なわれます。
(経緯台設置の水平の補正および経緯台直角度の補正が行なわれ導入および追尾精度が上がります。)
同期してもアライメント完了表示が無いときは、誤差を求める計算で解が見つからないときです。
経緯台のガタやバックラッシュが大きい時など適切な誤差の計算が出来ません。

(6) メモリアライメント

2点および3点アライメントの場合、アライメントが完了したときその変換式はメモリに記憶されます。
このメモリアライメントで同期したとき、変換式はメモリから読み出され差分のみ設定します。

電源 OFF しても変換式は記憶されており、設置条件を変えなければ次の電源 ON 時 1 点の同期で元に戻ります。



表示切替

現在位置の表示を方位 (A)、高度 (H) の表示に切替えます。



(を押しながら)



方位 (°)

高度 (°)

赤経赤緯の表示戻すには、同じ操作で行ないます。